



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日
東

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所
 コード番号 7722 URL http://www.kokusaikk.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 博司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 進一 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,126	29.6	1,480	—	1,481	741.5	1,130	—
2019年3月期第3四半期	7,042	△14.8	75	△92.9	176	△83.2	58	△91.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,136百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △163百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	80.68	—
2019年3月期第3四半期	4.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,386	10,965	58.8
2019年3月期	16,932	10,249	59.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 10,825百万円 2019年3月期 10,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 会社設立50周年記念配当5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	23.3	1,900	197.8	1,900	161.1	1,300	279.7	92.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	14,200,000株	2019年3月期	14,200,000株
2020年3月期3Q	184,621株	2019年3月期	184,621株
2020年3月期3Q	14,015,379株	2019年3月期3Q	14,015,413株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、米中貿易摩擦の長期化や、中国経済の減速懸念、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。一方で、国内経済は雇用・所得情勢の改善、個人消費や設備投資は緩やかな回復傾向が続いております。

なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資につきましては、当第3四半期連結累計期間も堅調に推移しております。また、国内自動車メーカーの設備投資につきましては、依然として低燃費エンジンや燃料電池・電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、引き続き研究開発用の電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や国内の自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高91億2千6百万円（前年同四半期比29.6%増）、営業利益14億8千万円（前年同四半期は7千5百万円の利益）、経常利益14億8千1百万円（前年同四半期比741.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億3千万円（前年同四半期は5千8百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上及び国内・中国向けの電気サーボモータ式振動試験機の売上が増加したため、前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

利益面につきましては、前連結会計年度に実施した役員報酬改定により役員報酬が増加したことや、売上高の増加に伴い製品保証引当金繰入額及び運賃が増加したものの、過年度にたな卸資産評価減を計上した電気サーボモータ式振動試験機を販売したこと、増収により売上総利益が増加したこと及び役員賞与を支給していないため、販管費が減少したことにより前年同四半期と比較して大幅に増加しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

〔日本（国際計測器株式会社）〕

中国・東南アジア向けのバランスングマシン及び国内・中国向けの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が大きく増加いたしました。また、過年度にたな卸資産評価減を計上した電気サーボモータ式振動試験機を出荷・検収したことにより利益率が改善いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	74億1千7百万円（前年同四半期比32.6%増）
経常利益	12億8千万円（前年同四半期比571.9%増）

〔日本（東伸工業株式会社）〕

原子力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は販管費の減少により、前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	1億4千2百万円（前年同四半期比12.0%減）
経常損失	8千8百万円（前年同四半期は1億3百万円の損失）

〔米国〕

日系の大手自動車関連メーカーや米国の自動車部品メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	7億2千4百万円（前年同四半期比20.3%増）
経常利益	3千8百万円（前年同四半期は1千9百万円の損失）

〔韓国〕

当社グループからの製造委託が減少したものの、韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンや自動車部品メーカーへのシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	14億7千4百万円（前年同四半期比5.7%増）
経常利益	2億7千9百万円（前年同四半期比17.6%増）

〔中国〕

中国国内タイヤメーカーへのタイヤ関連試験機の出荷・検収が減少したものの、自動車部品メーカーへのバランスングマシン及びシャフト歪自動矯正機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	5億4千5百万円（前年同四半期比24.7%増）
経常利益	7千7百万円（前年同四半期比17.1%減）

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、183億8千6百万円（前連結会計年度末比14億5千4百万円増）となりました。これは、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比2億8千万円減）し、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比4億3千6百万円増）したことや、第4四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比13億7千1百万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、74億2千1百万円（前連結会計年度末比7億3千8百万円増）となりました。これは、借入金の返済により長期借入金が減少（前連結会計年度末比1億6千9百万円減）したものの、受注の増加により支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比2億4千5百万円増）したこと、前受金が増加（前連結会計年度末比2億9千6百万円増）したこと及び課税所得の増加により未払法人税等が増加（前連結会計年度末比2億4千7百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、109億6千5百万円（前連結会計年度末比7億1千6百万円増）となりました。これは、為替換算調整勘定が減少（前連結会計年度末比1億7百万円減）したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加（前連結会計年度末比7億1千万円増）したことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年2月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055,340	4,492,113
受取手形及び売掛金	4,038,603	3,757,948
商品及び製品	239,755	156,718
仕掛品	2,640,935	4,012,520
原材料及び貯蔵品	598,576	621,821
その他	351,007	283,121
貸倒引当金	△5,801	△8,514
流動資産合計	11,918,418	13,315,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,461,119	2,427,738
機械装置及び運搬具	226,084	220,678
土地	1,307,431	1,302,948
リース資産	3,036	3,036
建設仮勘定	—	196,254
その他	270,991	294,559
減価償却累計額	△1,628,676	△1,676,768
有形固定資産合計	2,639,986	2,768,445
無形固定資産		
その他	54,214	54,676
無形固定資産合計	54,214	54,676
投資その他の資産		
投資有価証券	400,425	538,020
長期貸付金	10,160	10,453
繰延税金資産	14,942	5,513
保険積立金	1,585,445	1,396,969
その他	452,008	409,952
貸倒引当金	△143,005	△113,003
投資その他の資産合計	2,319,976	2,247,905
固定資産合計	5,014,177	5,071,027
資産合計	16,932,595	18,386,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352,596	2,598,233
短期借入金	1,140,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	225,484	225,484
未払法人税等	77,807	324,955
賞与引当金	116,351	59,529
製品保証引当金	90,441	96,453
前受金	1,397,899	1,694,326
その他	318,769	360,652
流動負債合計	5,719,349	6,659,634
固定負債		
長期借入金	461,482	292,369
繰延税金負債	136,582	91,783
役員退職慰労引当金	141,656	148,016
退職給付に係る負債	212,489	217,711
資産除去債務	11,937	12,123
固定負債合計	964,147	762,003
負債合計	6,683,497	7,421,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	8,052,121	8,762,543
自己株式	△151,034	△151,034
株主資本合計	9,860,586	10,571,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,797	334,198
為替換算調整勘定	27,736	△79,692
その他の包括利益累計額合計	266,534	254,506
非支配株主持分	121,977	139,602
純資産合計	10,249,098	10,965,118
負債純資産合計	16,932,595	18,386,757

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,042,119	9,126,755
売上原価	4,576,418	5,350,282
売上総利益	2,465,701	3,776,473
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	43,760	123,816
貸倒引当金繰入額	30,797	—
役員報酬	245,446	304,126
給料手当及び賞与	614,666	577,276
役員賞与	200,000	—
賞与引当金繰入額	27,438	26,355
退職給付費用	18,802	18,334
役員退職慰労引当金繰入額	6,360	6,360
運賃	229,154	303,373
減価償却費	23,059	24,742
研究開発費	15,507	4,293
その他	935,548	907,465
販売費及び一般管理費合計	2,390,543	2,296,143
営業利益	75,158	1,480,329
営業外収益		
受取利息及び配当金	34,963	35,783
為替差益	70,841	—
貸倒引当金戻入額	—	28,742
その他	20,950	17,930
営業外収益合計	126,754	82,456
営業外費用		
支払利息	7,478	7,561
売上債権売却損	2,690	3,308
為替差損	—	8,155
保険解約損	10,597	56,918
その他	5,109	5,533
営業外費用合計	25,875	81,477
経常利益	176,036	1,481,308
税金等調整前四半期純利益	176,036	1,481,308
法人税、住民税及び事業税	71,565	414,927
法人税等調整額	28,633	△77,741
法人税等合計	100,199	337,185
四半期純利益	75,837	1,144,123
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,810	13,239
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,026	1,130,883

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	75,837	1,144,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202,710	95,400
為替換算調整勘定	△36,611	△103,042
その他の包括利益合計	△239,321	△7,641
四半期包括利益	△163,484	1,136,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183,043	1,118,856
非支配株主に係る四半期包括利益	19,559	17,625

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
外部顧客への 売上高	5,307,920	152,958	592,023	583,586	329,176	6,965,665	76,454	7,042,119
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	284,407	8,900	10,086	811,548	108,574	1,223,518	48,023	1,271,542
計	5,592,328	161,858	602,109	1,395,135	437,751	8,189,183	124,478	8,313,661
セグメント利益 又は損失(△)	190,607	△103,927	△19,878	237,449	93,654	397,905	39,288	437,194

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	397,905
「その他」の区分の利益	39,288
セグメント間取引消去等(注)	△261,157
四半期連結損益計算書の経常利益	176,036

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が280,283千円含まれております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器株式会社	東伸工業株式会社						
売上高								
外部顧客への売上高	6,858,601	112,689	723,997	950,318	397,446	9,043,053	83,701	9,126,755
セグメント間の内部売上高又は振替高	558,496	29,785	79	524,337	148,298	1,260,997	74,525	1,335,523
計	7,417,098	142,475	724,076	1,474,656	545,745	10,304,051	158,226	10,462,278
セグメント利益又は損失(△)	1,280,734	△88,180	38,949	279,323	77,637	1,588,464	52,112	1,640,576

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,588,464
「その他」の区分の利益	52,112
セグメント間取引消去等(注)	△159,267
四半期連結損益計算書の経常利益	1,481,308

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が158,168千円含まれております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

区 分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,635,782	+30.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,814,445	+75.5	日本(国際), 韓国
材料試験機	112,689	△30.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	794,609	+23.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	759,429	△14.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	9,116,954	+29.3	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

区 分	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,066,760	△38.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,889,421	△5.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	239,249	△12.1	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	620,039	△27.2	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	837,125	△10.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	9,652,596	△27.8	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第3四半期連結累計期間末(2019年12月31日)

区 分	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	6,762,659	△15.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	3,630,803	+6.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	169,047	△4.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	673,198	△29.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	158,365	+13.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	11,394,074	△10.0	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

区 分	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	5,645,581	+30.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,814,445	+75.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	112,689	△30.4	日本(東伸)
シャフト歪自動矯正機	794,609	+23.9	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
その他	759,429	△14.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合 計	9,126,755	+29.6	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注3) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。